

静岡市議選勝利 演説会に1100人 市田副委員長、島津議員も



3月17日告示（26日投票）で市議選が行われる静岡市で19日、市田忠義副委員長を迎えた演説会が開かれました。しまづ幸広衆院議員と、市内が選挙区になる鈴木ちか（静岡1区）、松原さとし（同4区）両衆院候補が決意表明しました。

市田氏は、静岡市議選で現有5議席を確保し、総選挙で躍進をと

支援を呼びかけました。党は前回市議選で4議席から5議席に増やして議案提案権を獲得。市議団は国民健康保険料を2年連続引き下げ、家庭ごみの有料化を阻止しました。葵区の鈴木せつ子（現II）、杉本もる（現II）、駿河区の寺尾昭（現II）、清水区の内田りゆうすけ（現II）、望月ケンイチ（現II）の5人の候補が登壇し決意表明しました。

市田氏は、「国の政治がひどい時こそ、自治体は市民の防波堤になるべきだ」とのべ、「市民の願いを実現する日本共産党への支援を広げてほしい」と呼びかけました。



**各務原市議選 井上氏
大紀町議選 中野氏
が応援。議席確保に全力**

井上哲士参院議員は、19日、岐阜県各務原市議選（26日投票、定数24人、立候補29人）の応援に入り、現職のハタノこうめ、ながやてる子両候補の議席確保を訴えました。

井上氏は「党議員団は市民と共にチェック力、提案力、実行力を発揮してきた」と強調。「市民の声を届け、安倍暴走政治ストップへ奮闘する二議席を、必ず実現させてください」と力を込めて訴えました。

三重県大紀町議選（定数14）は21日告示（26日投票）され、現職の大東政司候補が立候補。中野たけし衆院比例候補が応援に入りました。

ハタノ（右写真、ながや（上写真）両候補と訴える井上議員



リニア優遇、地方は廃線 鉄道維持、国の責任で 本村議員追及

衆院予算委 JR東海優遇を批判

もとむら伸子衆院議員は17日の予算委員会で、30年前の国鉄分割・民営化以来、大もうけしているJR東海より、地域生活の基盤である地方路線を支援すべきだと迫りました。

本村氏は、国鉄・民営化当時、適正利益は1%と想定していたのに、JR東海は現在、売上高経常利益率36%、

営業収

入55億

56億

円とい

う高収

益を上

げてい

る。それは、民営化の際、「ドル箱」の東海道新幹線を譲渡されたからだ指摘。政府は、リニア新幹線に3兆円の財政融資をするうえに、

さらに、安倍首相自らが米国にリニアを売り込み、予算の中にそのための調査費を今年度も来年度も計上していると述べ、「特定の企業にあからさまな優遇をしているのか」と批判しました。

本村「地方路線支援を」
安倍「支援を行う」

つづいて本村氏は、2000年度以降、全国39路線771・1キロが廃線となり、JR北海道は、昨年11月18日、10路線13区間1237・

2キロ、同社の区間の約半分が自社単独で維持できないと発表したことを紹介。「地元任せにせず、国が主体となつて支援するのが当然だ」と追及。

安倍首相は「JR北海道・四国・貨物等々に対する支援は行っていないから」と答えました。

本村氏は「今必要なことは大もうけをあげているJR東海・リニアへの支援ではなく、地方路線への支援だ」と強調しました。

